

気候変動に対して行動せよ — 私たちの命がかかっている

気候変動と健康に関する行動を共に促進している
人々と組織のためのシェアード・ナラティブ

2023年11月

一目でわかるナラティブ

気候の危機は健康の危機であり、持続不可能な現状の維持によって加速されている。この食糧、水、空気を脅かし、病気や異常気象を悪化させ、身体的、精神的、社会的ウェルビーイングを危険にさらしている。

気候危機の脅威は万国共通なものだが、その影響の速さと深刻さはそうではない。この緊急事態を引き起こした原因が最も小さい人々が、最も苦しんでおり、気候ショックが、すでに不公平で脆弱な保健システムを限界点以上に押し上げている。

軌道修正の必要性は日に日に明白になっている。今すぐ行動を起こせば、単に大惨事を回避するだけでなく、より良い世界を実現するチャンスをつかむことができる。地球を傷つけることなく、すべての人が健康とウェルビーイングを享受し、繁栄を分かち合える社会を築くために必要な資源、技術、証拠を持っている。

気候変動と健康のために力を合わせることで、私たちが生きる未来を決めることができる。そのためには以下のことを実施しなければならない：

- **危機の原因を根本的に止める**：最も大きな汚染源から順に、化石燃料を速やかかつ公平に段階的に廃止し、さらなる地球温暖化を防ぎ、健康への脅威が拡大するのを阻止し、即座かつ地域的な健康の利益を得る。
- **すべての人の健康を守るための強靱なシステムと社会を構築し、決着をつける**：人々の身体的、精神的、社会的な健康とウェルビーイングを守るために迅速に適応し、すべての人のために気候変動に安全な未来を創造する。
- **最も影響を受ける地域社会が必要とし、受けるべきである資源を動員する**：気候変動への対応において、公平性、正義、地域の優先事項を優先し、健全で持続可能かつ安価な再生可能エネルギー、食料、交通、住みやすい都市への移行において、いかなる国や地域社会も取り残されないようにする。
- **人々の健康を基準に成功を定義する**：世界中の人々のウェルビーイングと生活を保護するために、気候危機への健康中心の対応をリーダーに求め、責任を果たさせる。

より良い世界は実現可能である—そして、私たちは皆、より良い世界を要求するために参加しなければならない。権力のある者は、入手可能な最良の証拠、最前線の地域社会の実体験、そして継続的なモニタリングに基づいて、迅速かつ果断な行動をとらなければならない。公平、正義、人権の原則は、重心であり続けなければならない。気候変動と健康の運動は、最前線にいる保健医療従事者から国の意思決定者まで、あらゆる部門、地域、大義を超えて、私たち全員のものである。

この戦略的ナラティブの目的：

- 発展している気候と健康の運動を、共有のビジョンに基づいて、すべての人々の健康とウェルビーイングをサポートし、環境と調和して機能できる社会を形成するために調整する。
- 気候変動と健康に関連するすべての関係者による解決策を促進するための、重要で生産的な対話を容易にするための共通の言語を提供する。
- 意思決定者に対して、一貫性のある、分かりやすい、説得力のある話し方をすることで、行動の緊急性を高め、不作為に対する責任を伝え、何が危機に瀕しているかを強調する。

1. 危機からより良い世界へ：気候と健康のために力を合わせる

気候の危機は健康の危機であり、持続不可能な現状の維持によって加速されている。不作為と怠慢の代償は、より極端で致命的な自然災害、変化する疾病のパターン、人々が安全に暮らせる場所の崩壊、生命を維持するための食料、水、空気への脅威によって失われる命と生活である。こうした加速する脅威が、人々の身体的、精神的、社会的ウェルビーイングに打撃を与える中、気候危機は、すでに脆弱で不平等な保健システムを、限界点を超えて押し進めている。

気候危機の脅威は万国共通なものだが、その影響の速さと深刻さはそうではない。 グローバルサウスや極地の地域を含む、この緊急事態を引き起こすのに最も少なく寄与した人々が、より速く大きな影響を受けている。若者、先住民族、貧困層、障害のある人々、紛争の影響を受ける人々、人種やジェンダーに基づく抑圧を経験する人々など、既に社会的に疎外されているコミュニティは、悪化したリスクを直面し、十分な注意が払われなければ、性急で拙速な対応によって損害を被る可能性がある。

軌道修正の必要性は日に日に明白になっている。 あまりにも長い間、あまりにも多くの人々が、気候変動が人間の健康にもたらす脅威を軽視し、短期的な利益を追求するために、体系的な行動を先送りしてきた。今、危機のスピードは加速しており、気候変動による健康への最悪の影響を防ぐための時間は急速に失われている。

今すぐ行動を起こせば、単に大惨事を回避するだけでなく、より良い世界を実現するチャンスをつかむことができる。 気候や自然を守る方法で、すべての人が健康とウェルビーイングを享受し、繁栄を分かち合える社会を築くために必要な資源、技術、証拠を持っている。化石燃料への危険な依存に終止符を打ち、より強靱で持続可能な健康、食料、水、その他の重要なシステムを構築することは、未来の世代の健康を改善し、今まさに命を救い、生命を維持するために必要な環境バランスを守ることになる。この危機に無感覚になったり圧倒されたりして、より良い世界を手にする機会を逸してはならない。

気候変動と健康のために力を合わせることで、私たちが生きる未来を決めることができる。 環境の健全性を安定させることで人間の健康を守ろうとする強力な運動が、世界的な対応への意欲を高め、そのスピードと規模を拡大するために必要である。私たちは一丸となって、この高まりつつある意識を必要とする行動に変えるために、この瞬間をとらえる必要がある。

2

気候危機と化石燃料への依存がいかにか 健康をリスクにさらすか

これらは気候変動と化石燃料への依存が、**身体的、精神的、社会的な健康とウェルビーイング幸福に対する数多くの脅威の中のいくつかである。**

化石燃料は直接的に人間の健康への悪影響は...

採掘 化石燃料の採掘と精製は、末端呼吸器疾患や安全上の危険など、労働者や周辺地域社会にいくつかのリスクをもたらす。

大気汚染 化石燃料は大気汚染の最大の原因であり、毎年700万人の死者[1]を出し、心臓病、喘息、出生率の低下、多くの癌を含む重大な病気の原因となっている。

温室効果ガスの排出、特に化石燃料からの排出は、地球を危険な状態にまで加熱し...

疾病伝播の増加 感染症の半数以上が気候変動によって悪化する[2]。気候変動は、これまで感染していなかった人々を含め、食物、水、媒介性疾患を蔓延させる最適な条件を作り出す。

猛暑 気温の上昇とより深刻な熱波は、特に幼い子ども、妊娠中の人、屋外で働く人、運動選手、高齢者にとって、熱に関連した病気や死亡のリスクを高める。暑さへの曝露は人々の生活に悪影響を及ぼし、2022年には863米ドルの収入損失につながっている[3]。

異常気象 より頻繁で深刻な熱波、暴風雨、干ばつ、山火事、洪水は、死傷や病気を引き起こし、生活を破壊し、水を汚染し、インフラを損傷し、移住を余儀なくされる。小さな島々や沿岸地域、低地に住む人々は特に危険にさらされている。

食糧と水の不安 気候危機は、農作物の収穫量を脅かし、食糧システムを混乱させ、今世紀半ばまでにさらに5億人の人々に大規模な食糧不安と栄養不良を引き起こしている[4]。清潔な淡水へのアクセスは、水路の乾燥、海面上昇による塩害、特に気候災害後の汚染によって脅かされている。

こうしたエスカレートする危機の影響を受けるのは...

ヘルスシステムと保健医療人材 異常気象は、保健医療施設、保健医療供給網、質の高い保健医療への安定したアクセスを崩壊させる。人々はより頻繁に病気になり、保健医療システムの負担が増大している。移住、災害、バーンアウトに直面し、より多くの保健医療従事者が職を離れ、残っている保健医療従事者の仕事をより困難なものにしている。

メンタルヘルス 気候変動の影響はメンタルヘルスに深刻な打撃を与えている。特に若い世代で、心的外傷後ストレス障害、不安、うつ病を引き起こしている。

不公平と健康の社会的決定要因 どのような危機や健康上の脅威があろうとも、社会から最も疎外されている人々や地域社会は、常に最大の影響を被る。このまま放置すれば、気候変動のあらゆる影響が、この不公平の悪循環を助長し、ひいては健康結果を悪化させることになる。

社会の安定と安全保障 希少な天然資源や土地利用をめぐる緊張は、現在進行中の紛争を悪化させ、政情不安につながる可能性があり、2050年までにさらに12億人[5]が移住する恐れがある。気候災害、移住、経済的機会の減少、食料や水を得るための長い旅は、ジェンダーに基づく暴力のリスクを高める可能性がある。

2. 地球を癒し、私たち自身を癒す：気候変動と健康のための行動への呼びかけ

気候変動と健康をめぐる状況には、さまざまな問題、地域、セクター、構成員が存在し、それぞれ独自の優先事項に取り組んでいるが、これらは全員で支持し、共に取り組むことのできる4つの基本的な行動の呼びかけである

一緒に、各セクターの指導者や意思決定者に対して以下のことを呼びかける：

- 1. 危機の原因を根本的に止める：** 最人間の健康に対する脅威を緩和し、個々と集合のウェルビーイングに驚異的な利益をもたらすには、化石燃料の迅速な廃止とクリーンエネルギーへの公正な移行、つまり最大の排出源を優先することが重要である。私たちの健康は、地球の温度調節に重要な森林から、食物システム、医薬品、生態系の安定などに不可欠な生物多様性まで、環境を守ることに依存している。
- 2. すべての人の健康を守るための強靱なシステムと社会を構築し、決着をつける：** さらなる温暖化の防止に努めているにもかかわらず、気候危機はすでに世界中で人々の身体的、精神的、社会的な健康とウェルビーイングを脅かしている。健康に影響を与えるさまざまなシステムをより強靱で公平なものに適応させ、気候変動による災害から将来のパンデミックに至るまでのショックによりよく耐えられるようにし、最終的にはすべての人の健康に対する人権を守ることができる。
- 3. 最も影響を受ける地域社会が必要とし、受けるべきである資源を動員する：** 気候危機によって最も大きな損失と被害を被っている地域社会は、温室効果ガス排出に対して最も責任を負っていない場合が多い。これらの地域社会が再建、対応、そして地域主導の解決策を実行するために必要な財源を確保することは、私たちすべての最善の利益となる。また、新たな資金の動員を推し進めることは、私たちの連帯責任であり、特に、より長い間、汚染を引き起こしてきた裕福な国々に重点を置く必要がある。
- 4. 人々の健康を基準に成功を定義する：** 気候危機に対処するための行動や投資のインパクトを測定する際、人々を中心に据える必要がある。成功の指標に健康を含めることを優先することで、人々の健康に具体的な利益をもたらす、人々を中心とした気候危機への解決策を生み出すことができる。最終的に、私たちの成功は、救われた命の数で測られることになる。

温暖化に「安全」なレベルはない すべての地球温暖化が生命と健康を危険にさらす理由

パリ協定を通じて、各国は地球温暖化を2℃以下に抑えること、そして1.5℃に抑える努力をすることを約束した[6]。世界はこの1.5℃の目標を超えようとしているだけでなく、加熱は誰もが予想したよりもはるかに速いペースで起こっている。今年には記録的な暑さになると予想されている。

重要なのは、1.5℃のしきい値をめぐる議論の中には、排出量目標に誤差があるとか、1.5℃は許容可能な温暖化レベルであるとかいうものがあるかもしれないが、そうではないということだ。

現実には、10分の1度温暖化するごとに、環境に取り返しのつかない被害をもたらすリスクが高まり、地域社会に致命的な影響を及ぼし、長年にわたって苦労して獲得してきた健康上の利益を覆すことになる。温暖化が加速すればするほど、社会の適応は難しくなり、1.5℃を超える温暖化に安全かつ公平に適応する能力は疑わしい。

現在、世界の平均気温はすでに工業化以前のレベルを1.14℃上回っており[7]、すでに、より頻繁で深刻な自然災害、致命的な熱波、感染症の増加、その他の健康への影響を目の当たりにしている。

排出量を実質的に削減し、健康上のコベネフィットをもたらすために大規模に利用可能な唯一の解決策は、温室効果ガスの排出と化石燃料の使用を速やかに段階的に廃止することである。しかし、その移行を公正なものとするためには、過去の排出量のうち最も大きな割合を占めている国、企業、地域社会が、脱炭素化のために最も大きな負担を負わなければならない。また、現在もインフラを整備し、エネルギー貧困の削減に取り組んでいる国々には、低炭素で再生可能なエネルギー源を開発するために必要な資源と支援を最初から提供しなければならない。

3. 気候変動と健康に関する行動指針

すべての行動は以下の基本原則に従う必要がある：

- **より良い世界は実現可能であると信じ、より良い世界を要求するために参加する：**危機の深刻さを抑制する機会がまだあるうちに、気温上昇と脅威についての悲観的な考えに甘んじることなく、行動を起こさなければなりません。ともに、温室効果ガスの排出や汚染で最悪の実績を上げている国々に対し、さらなる温暖化と人類の苦しみを防ぐために必要な組織的行動の責任を問うことができる。
- **公平と正義を推進する方法で、責任と資源を配分する：**気候政策と健康政策は、最も影響を受ける人々のニーズを満たすものでなければならないが、意思決定が行われるあらゆる場所で、これらのコミュニティが部屋の前面に立ち、テーブルを囲み、議題に上らなければ、そのようなことはできない。これは公正な代表を求める以上のものであり、最良の結果を得るための道筋である。同時に、行動に対する最大の責任は、この危機を生み出した最も責任のある国、企業、地域社会、そして体系的な決定を形成する指導者にある。
- **あらゆる気候対策をエビデンスと実体験に基づかせつつ、積極的に偽情報と戦う：**数十年にわたる気候変動の証拠から、実証済みの解決策、そして地球を守り、危機に対応してきた最前線のコミュニティの生活体験に至るまで、有意義な行動を起こすために必要な知識を持っている。同時に、危機は顕在化し、エスカレートしており、必要に応じて軌道修正するために調査と監視を続ける必要がある。また、コミュニティ・ヘルスワーカーやその他の信頼できる情報の仲介者と協力するなどして、気候変動に関する誤った情報や偽情報と積極的に闘わなければならない。
- **あらゆる部門、地域、大義を越えて取り組む：**気候危機への対応とレジリエントな地域社会の構築には、新たな関係を構築し、健康上の成果を左右するあらゆるセクターにおける解決策を特定する必要がある。私たちの取り組みは、多部門にまたがり、重複しないものでなければならない。

4. 私たちは単独で行動するわけではない：気候変動と健康に取り組む多くの賛同者と分野

「すべての政策における健康」とプラネタリーヘルスから「ワンヘルス」、災害リスク削減に至るまで、人々は人間の健康と私たちのプラネタリーヘルス（地球の健康）が密接に結びついていることを理解するための様々な枠組みを提唱している。

気候変動と健康における進展を確実にするためには、エネルギーや保健医療のより良いシステムから、コミュニティの建設、組織化、連携の方法、自然及び私たちが依存している自然資源とのより調和のとれた関係の達成に至るまで、様々なセクターを横断して考え、協力する必要がある。



エネルギー

私たちは、地球へのダメージを最小限に抑え、エネルギー貧困を終わらせ、エネルギー生産や燃料の燃焼に囲まれたコミュニティへの害を防ぐために、エネルギー源を変革する必要がある。



ヘルスシステム

気候危機を悪化させることなく、すべての人々のニーズに応えられる強靱で持続可能な公正な保健医療システムを確立する必要がある。



健康でつながった コミュニティ

私たちは、私たちが住む場所と移動する方法が、人々の最良の健康とウェルビーイングの成果を促進するように設計されていることを確実にする必要があります。



食物・水・空気

すべての人々が、地球環境にとって持続可能で健全な方法で生産された、健康的な食べ物、飲料水、汚染されていない空気など、生命を維持する資源への信頼性の高いアクセスを持つことを確実にする必要があります。



自然環境

私たちは、私たちの健康のために依存している自然界への「搾取」を終わらせ、自然との関係においてバランスを見出す必要がある。

エネルギー：

- 再生可能エネルギー源への迅速かつ公平な移行
- 国々が化石燃料を飛び越え、初めからグリーンエネルギーを持つための資金提供と技術支援によるエネルギー貧困の対象化
- 化石燃料の段階的廃止によって影響を受ける可能性のある人々やコミュニティへの支援・投資
- 再生可能エネルギーに必要な資源を人権を侵害したり環境を破壊したりせずに入手するための有害な採掘慣行の対処

ヘルスシステム：

- 廃棄物の処理、再生可能エネルギー源への切り替え、麻酔ガスの低排出への切り替え、サプライチェーン排出量の削減により、健康部門の気候への影響を減らす[8]
- 日常の健康とすべての人々およびコミュニティの基礎的な強靱性（レジリエンス）を支援するための、強力なプライマリヘルスケア（PHC: Primary Health Care）に基づくユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC: Universal Health Coverage）への投資
- すべての保健医療インフラが極端な天候の脅威に耐えられるようにする
- 保健医療従事者が気候関連の健康影響を認識し、患者や意思決定者と議論できるようにする

健康でつながったコミュニティ：

- 歩行、車椅子利用、乗車に安全でアクセスしやすいルートの建設、および再生可能エネルギーを使用する広範で連結された手頃な価格の公共交通システムの展開
- 都市部に緑地を作り、熱影響を減らし、メンタルヘルスを改善する
- 災害対応計画の改善、影響を受けたコミュニティを支援する社会的安全網プログラムへの投資
- 気候変動のメンタルヘルスへの影響に苦しむ若者へのカウンセリングを行うための学校へのリソース提供

食物・水・空気：

- 再生可能な農業、アグロエコロジー、先住民族の食文化への投資、植物主体の持続可能な健康的な食事の促進
- 工業的家畜飼育からの転換、小規模農家の保護
- 極端な天気、特に干ばつや洪水に強い水道および廃棄物管理システムの構築

自然環境：

- アマゾン雨林などの大きな影響を受けている地域や生態学的に重要な地域での森林伐採の廃止と森林の復元
- 生物多様性の促進
- 川、湖、海への有毒廃棄物の投棄の廃止

これらの例は網羅的なものではない。このナラティブを使用する際、私たちは皆さん自身のセクター横断的な作業の例を見ることを楽しみにしている。

付録：気候変動と健康の運動（ムーブメント）における重要なつながりを意図的に構築する

コミュニティへのメモ：強固な気候変動と健康の運動（ムーブメント）を築き、関連するすべての気候変動と健康アクターをテーブルに招くためには、運動（ムーブメント）の勢いを最後まで維持するのに役立つ本物の対話と関係に投資する必要がある。したがって、このコミュニティがこのページのナラティブで探求されている概念に取り組み、私たちが共有するすべての場（スペース）で活動し、具体的な次のステップと解決策に向けて進むことを望む。これらの対話の最良のバージョンを促進するために、私たちは以下の方法で互いに関わるべきである：

- 最善の意図を仮定する：**一日の終わりには、気候変動と健康の運動（ムーブメント）は多くの類似した目標と価値観を共有している。しかし、時には、これらの共通点が専門用語や文化の違いによって見えにくくなることがある。互いの対話では、まず違いを理解し、明確にすることを目指し、他者が最善の意図で行動していると仮定すべきである。
- 学ぶために聞く：**成長している気候変動と健康の運動（ムーブメント）は、何十年にもわたる地域社会のメンバーの長期的な努力により存在し、共有すべき重要な教訓を持っている。同時に、この分野が新しい人々は、新しい人々・聴衆を行動に動かすための最良の方法を理解するための独自の立場にある。気候活動家は、医療専門家と同様に、用語や解決策に関して何十年もの議論に従事してきた。このスペースでの全員の声を価値あるものとし、過去の経験から共有し、学ぶことを試みるべきである。
- 相互関係を優先する：**気候変動と健康の運動（ムーブメント）はお互いに提供できる強みと資源を持っており、共に各部分の合計以上のものになることができる。
- 困難な対話のためのスペースを作る：**より美しい未来を描くためには、現在の社会が不足している部分に正面から立ち向かい、代替案のビジョンを共同で創造する必要がある。私たちは困難な対話から逃げるのではなく、それらを行うために必要な信頼を構築することに投資すべきである。

この文書について

対象者

この文書は主に、気候変動、健康、またはその両方にすでに取り組んでいる個人や組織を対象としており、共同行動を促すことに関心がある人々向けに設計されている。このナラティブが、特定の問題領域、政策要求、その他の優先事項に対処するためにさらにカスタマイズされる有用な共有フレーミング言語、行動呼びかけ、原則などを提供することを望んでいる。

第二の対象者は、私たちの組織のリーダーから国内外の政策立案者にいたるまで、気候変動と健康運動のステークホルダーが影響を与えようとしている意思決定者である。

なぜいまなのか？

このナラティブは特に国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）の交渉に結びつけられているわけではないが、COP28に向けて一貫性を持って話すために、気候変動と健康のアクターの数を増やす必要がある。COP28では、12月3日に史上初の健康の日（Health Day）が開催され、過去のCOPよりも全体的に健康に焦点を当てる予定である。私たちは、COP28を通じて学んだ教訓をまとめ、最も効果的で共鳴するメッセージングについて2024年初めにパートナーと一緒にこの言い回しを見直す予定である。

共同創造のプロセス

ナラティブ内の概念、アイデア、原則は、気候変動と健康の交わりにおいて働く人々と組織間の何年にもわたる対話と協力に基づいている。

COP28に向けて、多くの関係者が、関心を持つ組織の数が増える中で、気候変動と健康のための共同行動の必要性について明確かつ一貫性を持って話すための共有された大規模なナラティブが必要であると特定した。この要望に応えるために、グローバル・クライメイト・ヘルス・アライアンス（GCHA: Global Climate and Health Alliance）事務局は、2021年の「健康な気候のための処方（Healthy Climate Prescription）」、WHO COP26特別報告書「気候変動と健康（WHO COP26 Special Report on Climate Change and Health）」、2021年地域気候変動と健康に関する協議、COP27ヘルスコミュニティ政策提言などの取り組みに基づいて、2023年6月にフレームワークのドラフト作成を開始した。GCHAメンバーおよびパートナーと協議してフレームワークを改訂した後、GCHAはClimate x Health事務局と緊密に協力して一貫性のあるドラフトを作成し、広範囲にわたってレビューを求めた。ワークショップ、調査、複数のドラフトを通じて、Climate x Health事務局は50以上の組織およびすべてのClimate x Health共同主催者からのフィードバックを統合し、ナラティブの現在のバージョンを作成した。

気候変動と健康の課題が進化し続けるにつれて、肯定的な変化を促進する機会とともに、今後も相談や改訂の機会があると考えられる。

Climate x Health イニシアティブについて

Climate x Healthは、長年にわたる気候変動と健康のアクターの継続的な努力を基に、以下の方法で補完し、増幅させることを目指している：

- 気候変動と健康運動への参加を拡大し、多様化させる
- 行動を調整し、刺激するための共有された大規模なナラティブを開発する
- 特に多くの組織が関与するようになるにつれ、景観全体で戦略と活動を調整するためのフォーラムとサポートを提供する
- 気候変動と健康のチャンピオンの仕事、視点、行動の呼びかけを評価する

Climate x Healthは、**ウェルカムトラスト**、**ロックフェラー財団**、**グローバル・クライメイト・ヘルス・アライアンス**、**アムレフ・ヘルス・アフリカ（Amref Health Africa）**によって共同主催されている。彼らのウェブサイトを訪れて、気候変動と健康に関する個々の取り組みについて詳しく知ることができる。

Climate x Health事務局はグローバルヘルスストラテジーズに基づいており、team@climatexhealth.org が窓口となる連絡先である。

参考文献

- 1 World Health Organization. Air pollution. https://www.who.int/health-topics/air-pollution#tab=tab_2.
- 2 Mora C, McKenzie T, Gaw IM, Dean JM, von Hammerstein H, Knudson TA, Setter RO, Smith CZ, Webster KM, Patz JA, and Franklin EC. Over half of known human pathogenic diseases can be aggravated by climate change. Nat. Clim. Chang. 2022;12:869-875. <https://doi.org/10.1038/s41558-022-01426-1>.
- 3 Romanello M, di Napoli C, Green C, et al. The 2023 report of the Lancet Countdown on health and climate change: the imperative for a health-centred response in a world facing irreversible harms. The Lancet 2023:Preprint. [https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(23\)01859-7](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(23)01859-7)
- 4 Ibid. Romanello M, et al.
- 5 Institute for Economics & Peace. Over one billion people at threat of being displaced by 2050 due to environmental change, conflict and civil unrest. 2020. <https://www.economicsandpeace.org/wp-content/uploads/2020/09/Ecological-Threat-Register-Press-Release-27.08-FINAL.pdf>.
- 6 UN Framework Convention on Climate Change. Paris Agreement. 2015. https://unfccc.int/sites/default/files/english_paris_agreement.pdf.
- 7 Ibid. Romanello M, et al.
- 8 World Health Organization. Operational framework for building climate resilient and low carbon health systems. 2023. <https://www.who.int/publications/i/item/9789240081888>.